

男子の公立高校大会を観戦してきました。  
結果は以下の通りです。

2013.12.21(土) 地区予選 於:美原高校

天王寺 2vs0 美原

天王寺 2vs0 布施

天王寺 2vs0 花園

2013.12.22(日) 中央トーナメント 於:西野田工科高校

天王寺 2vs1 北かわち皐が丘(28-30/25-20/25-19)

天王寺 0vs2 西野田工科(19-25/27-29)

地区予選、2戦目の布施は1部のチームで、秋の部別では大塚のいるゾーンで2位であったが、正セッターではなくエースがセッターをしていたので、ベストメンバーではなかったかもしれないが、天王寺は得意のコンビバレーが機能しており、1年生センターのA、Bのクイックはほとんどノーブロックで気持ちよく決まっていた。両エースは絶好調で、センター、ライトの幅のある攻撃も相手レシーブを攪乱して非常に有効であった。



ブロックも練習の成果が出ており、相手スパイクを良く抑え込んでいた。レシーブではリベロを中心にサーブレは安定しており、ラリーでのレシーブのつながりもすばらしかった。

3戦目の花園戦は正セッターが怪我のため裏エースが代役だったが何とか勝った。



中央トーナメント 初戦の北かわち皐が丘は天王寺はいつものように立ち上がりが悪く、エースが相手ブロッカーにつかまり、なかなかペースをつかめなかった。裏エースの平行がいまいちタイミングが合っていない感じできめきれない。1年生センターのA、B速攻は良く決まっていたが、1セット目は結局競り負けた。



2、3セット目は、徐々に天高がペースを取り戻してきて、速攻中心の得意の攻撃パターンで取った。Aクイックが有効なため、それをおとりにエースの時間差セミも決まる。

ただし、ホールディング、ドリブル、ネットタッチも何本か取られ、やはり気負いが感じられた。

2戦目の西野田工科戦。基本的には、2枚エースでオープン主体のチーム。速攻らしきものはほとんどなかったが、天王寺がしっかりとブロックを付けても、フェイントや、ブロックアウトで巧みにかわされる。相手長身エースにブロックの間、あるいはブロック越しに対角の深いところに軽打を決められることも多く、なかなか良いパスがセッターに入らない。



逆に、オープン主体になっていく天王寺としては、2段トスが打ちきれなかったり、苦し紛れにフェイントをしてもコースが甘く簡単に拾われてしまう。

相手サーブも良かったのか、なかなかうちの速攻の形に持ち込めなかった。相手ブロックも良く、調子の良かったAクイックが何本か止められていた。

2セット目後半ではサーブでレシーブの悪い相手選手を狙うなどして、サービスエースも決まり出し、相手のミスに乗じてジュースまではこぎつけたが、相手の方が試合巧者で特にネット際のプレーに長けていた。天王寺高校の方が、きれいなバレーをしているとは思ったが、それだけでは勝てない。今後のうちの課題が見えた気がした。

美濃出コーチ、野川コーチ、駒井先生お疲れ様でした。OBでは寺島君、いつものように父兄も応援に駆け付けてくれました。